

在外福島県人会サミットに寄せて
～「ふるさと福島応援宣言」～

私たちは遠く離れていても、いつも故郷「ふるさと」^{ふるさと}「ふくしま」に心を寄せていました。

2011年3月11日に発生した東日本大震災と、それに伴う原子力発電所の事故により、故郷「ふるさと」^{ふるさと}「ふくしま」は、県土全体が厳しい状況に置かれているものと、大変悲しく思っていました。

しかし、このたび福島を訪れ、知事との懇談や視察など、実際に福島の皆さんとの交流を通じて、力強く復興に向かう故郷「ふるさと」^{ふるさと}「ふくしま」の姿や、そこに住む皆さんの「生きる力」を間近に感じ、「悲しみ」は「希望」へと、そしてその「希望」は、復興を必ずや成し遂げるという「確信」へと変わりました。

私たちは、間もなく福島を離れることになります。福島で見たこと、聞いたこと、感じたこと、そして、福島は元気であるということも、帰国後しっかりと伝えていきたいと思えます。

私たちは、故郷「ふるさと」^{ふるさと}「ふくしま」を心より誇りに思い、そしてこれからも、世界各地より応援していきます。

平成25年2月8日 在外福島県人会サミット参加者 一同